



まつナビ フィールドワーク

7月23日(水)に2年生がまつナビフィールドワークを行いました。松浦市、平戸市、佐世保市の19の飲食店、ショッピングモール、寺院、海岸などさまざまな場所を訪問し、班の探究テーマに対して意見をいただいたり、協力を依頼したりしました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



オープンスクール

7月29日(火)にオープンスクールを開催し、松浦市内外から約100名の中学生と保護者の方々が参加されました。本校のオープンスクールは毎年、企画・運営の大部分を生徒が行っており、今年も生徒による「松高レンジャー」がクイズを交えた学校説明等を行い、緊張気味の中学生も和んだ雰囲気の説明を聞くことができました。体験授業や部活動体験、ドローン体験等、参加体験型の企画にも積極的に参加いただき、本校の魅力を感じていただけたことと思います。



オープンスクール限定キャラクター
本校の美術部がデザインしました。

街づくりワークショップ

夏休みの5日間で、生徒4名が松浦市の課題に対する計画の作成を行いました。慶応義塾大学や、長崎県立大学の学生、松浦市内の中学生で構成されるグループワークを通して、若者ならではの意見を出し合いました。最終日に発表会を行い、地域住民や松浦市からの講評をいただき、「明日からできること」を考えました。



Issoh! My place!
1年 前川 咲来(福島中)



ぶどうが隠しアジ、??
1年 望月 百花(志佐中)



外国人労働者と地域住民の交流
2年 久保川 愛子(調川中)



平和学習

8月9日（土）に平和学習が行われました。校長による講話の後、各クラスで被爆体験談や高校生の平和活動についての動画を視聴し、平和のためにできることを考えました。

長崎県民にとって大切な1日であることを自覚し、しっかりと考えを深めることができました。

【生徒感想】

- ・現在、平和についての活動がノーベル平和賞を受賞するほど注目されている。今こそ日本が平和を重んじる国だと世界に再認識させるときなのではないだろうか。
- ・全世界のうち被爆国は日本だけなので、原爆の恐怖を世界に伝え、長崎が最後の被爆地になってほしいです。



表彰伝達式

佐世保地区高等学校
新人陸上競技大会



男子やり投 第1位 田川 慶心
(今福中)

幸村杯第10回全国高等学校
なげなふ選手権大会



準優勝 山口 真尋(山代中)

全国高等学校総合文化祭
全国NHK杯全国高校放送コンテスト



放送部門/朗読部門 入選 北嶋 乃乃香
(志佐中)

全国高等学校総合体育大会なげなふ競技大会
全国高等学校なげなふ選手権大会



団体試合 第5位 阿部 優亜(志佐中)
浦辺 優花(今福中) 崎田 愛(志佐中)
高田 綺星(御厨中) 成富 姫香(御厨中)
濱川 愛瑠(志佐中) 梶原 愛瑠(志佐中)



個人試合 第5位 梶原 愛瑠
(志佐中)

国民スポーツ大会 九州ブロック大会



団体試合 第3位 崎田 愛(志佐中) 成富 姫香(御厨中)
梶原 愛瑠(志佐中)

収穫の秋

季節の変わり目は天候も不安定になるようですが、今朝も雷光と雷鳴で私は叩き起こされ、寝不足で辛い一日となりました。私だけでなく多くの現代人が雷に負のイメージを持っていますが、実は昔の人は雷が稲の豊作をもたらす吉兆と信じていました。それは決して迷信でもなさそうで、落雷によって大気中の窒素が土中に落ち、植物の肥料になるとのこと。秋の雷光を「稲妻」と表すのもそれに起因するらしく、そう考えるとコメ不足が叫ばれる昨今、怖い雷に有難味さえ感じます。いよいよ「収穫の秋」を迎えますが、3年生にとっても夢を叶える大切な季節です。その第一弾である就職試験が9月16日(火)から始まりました。就職志望の3年生は8月から少しずつ準備をはじめ、先生方の熱心な面接指導等に支えられ、稲穂のように実をつけてきました。「よろしくお願ひします」「ありがとうございました」といった言葉と、それらに見合った謙虚な姿勢を見るたびに、3年生の人的成長を感じています。まさに、「実るほど首を垂れる稲穂かな」です。3年生にとって実り多い秋になることを心から願っています。



校長
宮崎 哲郎